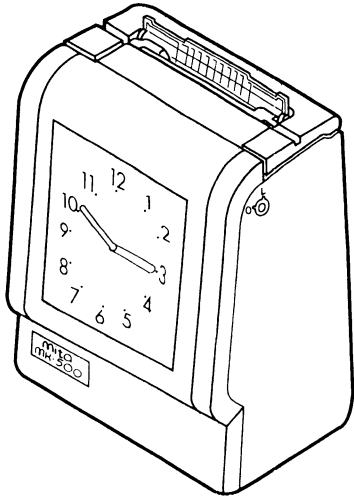


クオーツタイムレコーダー
mk-500 シリーズ
取扱説明書



三田事務機株式会社
0120-22-8505



ご使用にあたって

このたびはmitaクォーツタイムレコーダー mk-500をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

使用上の注意

以下のような場所を避けて設置して下さい。

- ・湿気やほこりの多いところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・振動の激しいところ、又は常時振動が発生しているところ

タイムレコーダーは、室温が-5℃から45℃の範囲の場所で御使用下さい。また急激な温度変化を与えることはさけてください。

台にのせて使用する場合には、70~80センチの高さの台にしっかりと固定してお使い下さい。電源は、本体のラベルに記載された電圧、周波数をお使い下さい。市販されているコンセントに電源コードを差して下さい。変動の大きい電源は使わないで下さい。

ご使用にあたって

mitaクォーツタイムレコーダー mk-500は、カードが自動で給排出します。

印字欄を1~6のキーを押して選択してカードを上から挿入して下さい。

設定に関する内容は、納品の時点で完了しており、内容の変更がない場合は、日常での操作は時刻修正をのぞいて必要ありません。停電が起きた場合でも、メモリー保持機能により消えません。ご使用のタイムカードや設定内容に変更が生じる場合は、事前に担当営業所までご相談下さい。また、印字される文字が薄くなりましたら、インクカセットの交換が必要ですので、担当営業所までご用命下さい。

諸元

時計	アナログ（2針式）およびデジタル（日付と時間）
精度	平均月差±10秒（常温）
自動月末調整	万年カレンダーによる曜日、月末および閏年自動調整（~2089年）
リボンカセット	2色（黒色）ファブリックリボンカセット
印字	
方式	ドットマトリクス
印字色	2色（黒字）
外部接点	無電圧接点
メモリー保持	無通電時間の累計で5年間
停電打刻	専用ニッカド電池（別売）により100打刻（24時間以内）
使用環境	温度：5~45℃。室温：20~90℃RH 結露なし ただし、温度-5℃、以下の場合、印字品質は保証できません。
サイズ	240（幅）×327（高さ）×185（奥行）
重量	約5キログラム

三田事務機株式会社 タイムレコーダー事業部

0120-22-8505（各サービス共通）

○サービスネット 東京サービス
関西サービス
神奈川サービス
愛知サービス

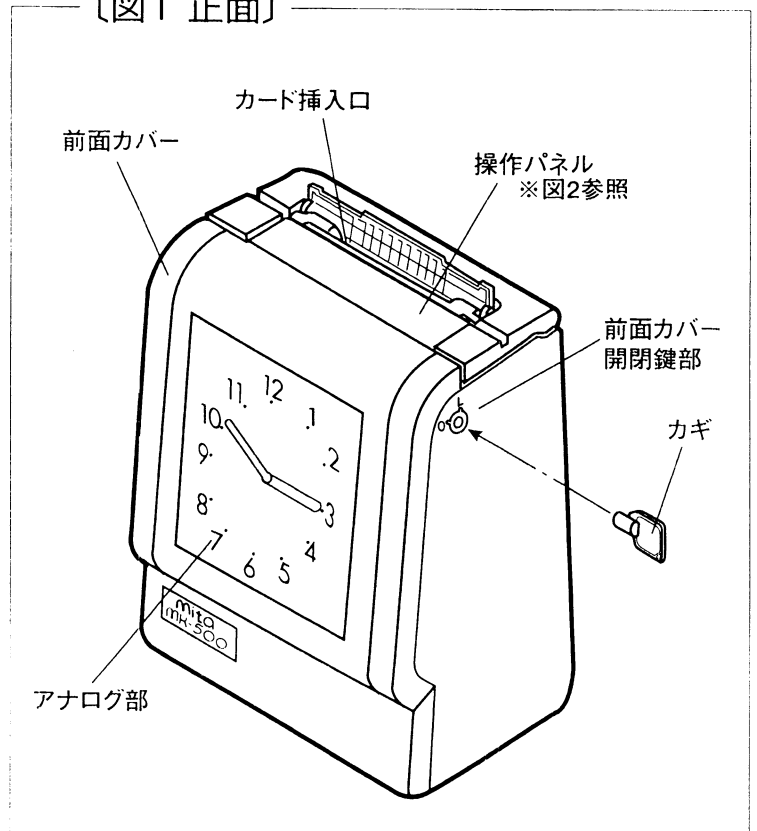
1 はじめに

○時刻や締日などタイムレコーダーが動作するために必要な事柄は、あらかじめ設定してありますので電源プラグをコンセントに差し込むだけですぐお使いいただけます。

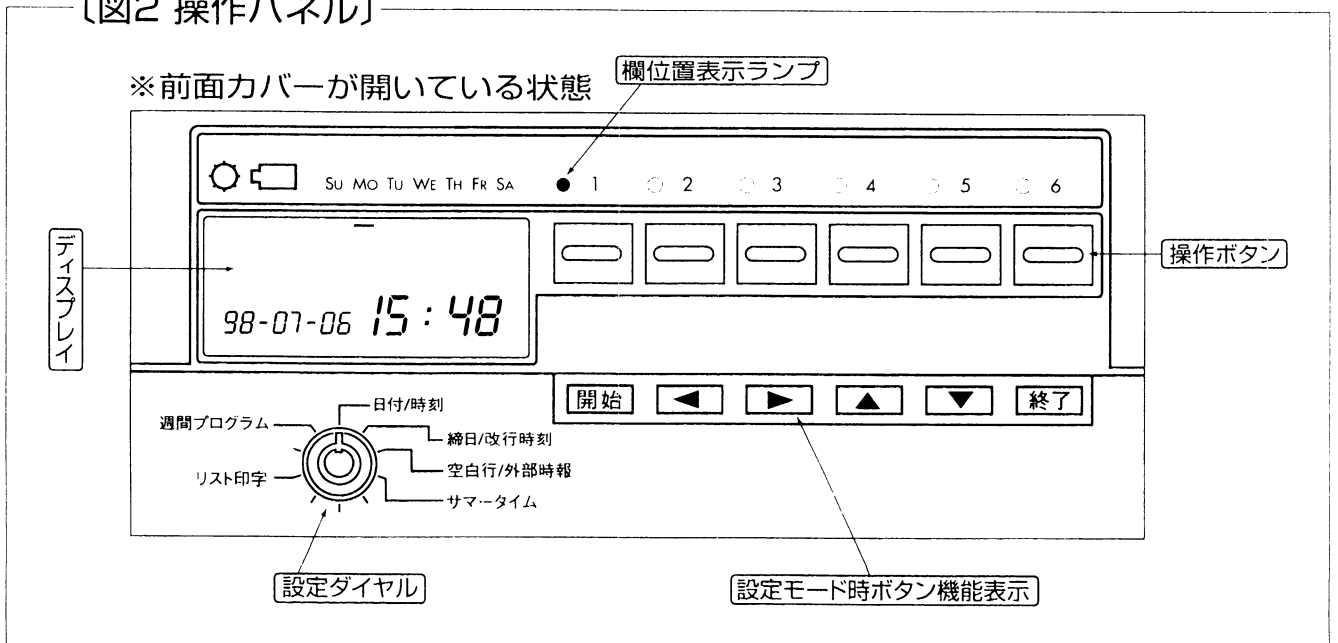
2 通常操作において

- 〔図1〕の操作パネルの操作ボタンにて欄位置を指定し、カード挿入口よりタイムカードを打刻します。
- ① 本機は、タイムカード自動引き込み式ですので、挿入口にタイムカードをゆっくり挿入していただくだけで、自動的にカードを引き込み時刻を印字し、自動的に上がってまいります。また、あまりにも強くカードを押し込みますと、カードが折れ曲がったり、機械内にカードが詰まる事もありますので、気を付けて下さい。
- 〔図2〕のディスプレイに現在の年（西暦下2ケタ）、月、日、時：分（24時制）、曜日が表示されます。（図2例1998年7月6日 15時48分 月曜日となります）

〔図1 正面〕



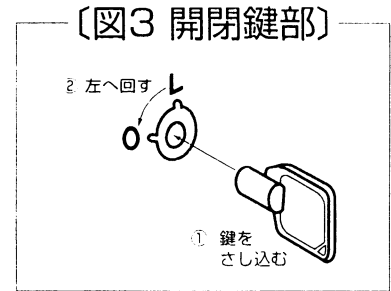
〔図2 操作パネル〕



3 設定操作について

- ①・〔図1〕の前面カバー開閉鍵部へ付属のカギをさし込み、“L”の位置から“O”の位置へ回す事により、前面カバーが開きます。
 (〔図3〕参照)

※前面カバーが開きますと、自動的に **設定モード** (時刻の修正やセットされている設定内容を変更する時) 状態になります。



②設定ボタンのはたらき

- ・①の方法で前面カバーを開けますと、〔図2〕の操作パネルが出てきます。

機能表示	操作ボタン	ボタンのはたらき
開 始	1 欄ボタン	設定の変更を行う場合まずこのボタンを押します
◀	2 欄ボタン	設定変更したい部分へ移動させるボタン (左へ)
▶	3 欄ボタン	〃 〃 (右へ)
▲	4 欄ボタン	設定数値を大きくします
▼	5 欄ボタン	〃 を小さくします
終 了	6 欄ボタン	設定の変更が完了した時、最後にこのボタンを押します

- ・設定ダイヤル〔図2参照〕を付属のカギで変更させたい設定位置へと回し合わせます。

③各項目の設定方法

Step 1 日付や時刻の調整 (時刻のズレを調整する時など)

設定ダイヤルを 日付/時刻へ	ディスプレイ表示	
日付/時刻	年 月 日 時 分 秒 98-07-06 15:48:00	〔開始〕ボタンを押すと年が点滅しますので変更させたい場所まで◀▶のボタンで点滅部を移動させ、次に▲▼のボタンで数値の変更をし、そして最後に〔終了〕ボタンを押します。(〔終了〕ボタンを押すと同時に時計が歩進し始めます)

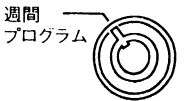
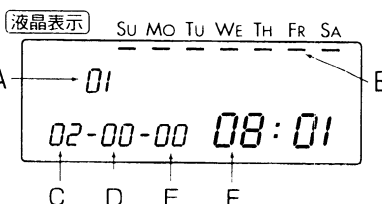
Step 2 締日や改行時刻の変更 (カードの締日設定や、日付の改行時刻の変更)

設定ダイヤルを 締日/改行時刻へ	ディスプレイ表示	
締日/ 改行時刻	× × 締日 改行時刻 95-01-31 05:00	〔開始〕ボタンを押すと、締日が点滅しますので、締日設定の場合は、そこで▲▼ボタンで数値を変更、非改行時刻の設定の場合は▶のボタンで改行時刻の場所まで移動をさせて、▲▼ボタンで時:分を数値変更させます。そして最後に〔終了〕ボタンを押します。

Step 3 空白行や外部時報長さの変更 (タイムカード上の空白行位置や接続している時報の長さの変更)

設定ダイヤルを 空白行/外部時報へ	ディスプレイ表示	
空白行/ 外部時報	空白行 時報長さ (秒) 01 10	〔開始〕ボタンを押すと、空白行が点滅しますので、空白行設定の場合は、そこで▲▼ボタンで数値を変更、また時報長さの設定の場合は▶のボタンで時報長さの場所まで移動させて、▲▼ボタンで数値(秒数)の変更をし、そして最後に〔終了〕ボタンを押します。

Step 4 週間プログラムの設定 (ここでは①2色印字(赤黒)、②時報出力、③自動欄移動の各設定に曜日指定して時刻を設定します)

<p>設定ダイヤルを週間プログラムへ</p> 	<p>ディスプレイ表示</p>  <p>A → 01</p> <p>C D E F</p> <p>A プログラムNO. 01~48 B 有効曜日選択 C 赤黒印字指定 00 前の状態を維持 01 黒印字 02 赤印字 D 時報出力 00 時報OFF 01 時報ON E 印字欄指定 00 指定せず 01~06 印字欄を指定 F 時刻設定 24時間制で 時、分を入力</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 開始 ボタンを押すとプログラムNO (A) が点滅します ▲のボタンを押すとプログラムNO数値が増え、▼のボタンで数値が減りますので、設定するプログラムNOに合わせて下さい (2) 次に▶のボタンを押すと有効曜日選択 (B) の設定に移り、有効にする曜日の下に「—」マークを▲で点灯させ、無効にしたい曜日の下に設定カーソルがきたときに▼を押すと「—」が消える (3) 次に▶ボタンを押すと、赤黒印字指定 (C) に移り、ここで設定する時刻の印字色を00 (前設定時刻の色を維持する)、01 (黒印字にする) 02 (赤印字にする)、いずれかを▲▼のボタンで設定する (4) 次に▶ボタンを押し、時報出力設定 (D) の設定に移り、同じく▲▼のボタンで、時報を鳴らさない 00 鳴らす 01 を選択する。 (5) 次に▶ボタンを押し、印字欄の指定 (E) の設定に移り、同様に▲▼のボタンで、指定なし 00 欄指定 01~06 を入力する (6) 次に▶を押すと最後にその時刻を設定します まず点滅している“時”(hour)を、つぎに▶押し“分”(min)を点滅させ、それぞれ▲▼ボタンで数値を変え、設定します (7) 一つのプログラムが終了したら終了ボタンを押します *上記の操作でプログラムを設定して行きます *全てのプログラム設定が終了しましたらロータリースイッチを“日付/時刻”の位置に戻し、前面カバーを閉じて下さい
--	--	---

・設定の変更が完了しましたら、そのまま前面カバーを閉じて下さい。通常状態に戻ります。(しばらくアナログ時計が回転し、現在時刻へ戻ります)

※その他赤黒2色切替時刻、時報時刻、自動欄移動時刻、サマータイムそれぞれの変更につきましては、ご遠慮なく当社各サービスセンターまでお問い合わせ下さい。

4 リボンカセットの交換

印字が薄くなりましたらリボンの交換時期です。新しいリボンカセットへ交換してください。(当社サービスセンターへご連絡いただければ、リボンカセットの販売、または出張交換いたします。)

[図1]の前面カバー開閉鍵部へ付属の鍵をさし込み、“L”の位置から“O”の位置へ回すことにより、前面カバーが開きます。[図3]参照

レコーダー内部にリボンカセットがセットされていますので、カセットを上引き上げると簡単にはずれ、新しいカセットをそのまま交換セットし、前面カバーを閉じます。

5 トラブルシューティング

故障かなと思ったら

現象	確認事項
<ul style="list-style-type: none"> ● 全く作動しない ● カードを引き込まない 	<ul style="list-style-type: none"> * 電源コードは正しい電圧のコンセントに差し込んでありますか？ * 印字禁止日が設定されている日ではないですか？
<ul style="list-style-type: none"> ● 印字しない ● 印字が混色する 	<ul style="list-style-type: none"> * リボンカセットは正しくセットされていますか？
<ul style="list-style-type: none"> ● 印字位置が合わない 	<ul style="list-style-type: none"> * カードタイプと縮目の設定を確認してください。タイムカードが折れたり、曲がったりしていませんか？
<ul style="list-style-type: none"> ● タイムカードが中に入ったまま上ってこない 	<ul style="list-style-type: none"> * カギで前面カバーを開け、中に入っているタイムカードを指でカード入口まで押し上げ、前面カバーを閉じて下さい。(すると、カードが上ってきます)

6 エラーコード一覧

エラーNo.	エラー内容	処置
E-03	カードの裏表が間違っている。	裏返してください。
E-04	カードの種類が間違っている。(カード長が短い。)	正しいカードをいれるか設定を変えてください。
E-05	カードが引き込めない。	カードを入れ直してください。
E-20	週刊プログラムで指定された印字欄が、印字フォーマットの設定と合わない。	プログラムの修正をするか、カードの設定を変更してください。
E-30	ホームセンサが正しく読めない。	リボンカセットを正しくセットしてください。
E-31	カードが排出できない。	前枠を開けて中にカードが詰まっていないか確認してください。

※処置後に再度エラーが出たときには販売店にご連絡ください。

⚠ 危険

AC出力のある機器で外部の機器の電源を入り切りする場合、接続工事は有資格者以外は行わないでください。また、工事の際は本機および接続する機器の電源プラグは必ずコンセントから抜いてから行ってください。通電時にはドライバーなどの金属物で接続端子に触れないでください。誤って端子に触れた場合、感電、火災の危険があります。

⚠ 警告


- この機器のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- この機器を改造しないでください。火災、感電や火災のおそれがあります。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
- 万一、異物（金属片、水、液体など）が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
- アース接続してください。アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- この機器の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災、感電の原因となります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となります。
- プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。(必ずプラグを持って抜いてください)コードが傷つき、火災、感電の原因となります。
- 本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となります。
- プリンターのヘッド部分には、触れないよう、ご注意ください。けが、火傷の原因となります。
- 電源プラグは奥まで確実に挿入してください。火災、感電の原因となります。
- タイムカードの挿入口には指定のタイムカード以外は差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 機器で指定されていない電池は使用しないでください。電池の発熱、破裂などにより、火災、けがの原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、ケースを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
- 扉が開いているときに、扉に寄りかからないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
- 乾電池を使用する機器に新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の発熱、液もれ、破裂などにより、火災、けがの原因となります。
- 乾電池を機器に挿入する際は、電池の極性（プラスとマイナスの向き）に注意して、間違えないように挿入してください。間違えますと電池の発熱、破裂などにより、火災、けがの原因となります。

日頃のお手入れについて
半年に一度は電源プラグをコンセントから抜き、ほこりや汚れを乾いた布などで掃除してください。

三田事務機株式会社

 **0120-22-8505**

(各営業所共通)

○サービスネット

東京サービス
関西サービス
神奈川サービス
愛知サービス